

2025年12月

科学部

令和7年度信州サイエンスキャンプ「課題研究発表会兼全国高等学校総合文化祭県予選」で 総合最優秀賞を受賞しました

令和7年12月14日、信州大学理学部でおこなわれた全国高等学校総合文化祭県予選で、「長野県大町市の水田における光合成細菌 *Rhodopseudomonas* 属に関する研究」を発表し、総合最優秀賞をいただきました。



以下、長野県高校生探Qフェスティバル2025実施報告 学びの改革支援課
https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/goannai/shiryo/r7teireikai-shiryo/documents/1136_s3.pdf より抜粋

自然科学研究発表会では、地道な研究成果が多く発表されました。審査の結果、下記の研究は、令和8年7月26日～8月1日に行われる「あきた総文祭2026」へ県代表として出場します。



賞	学校名	研究テーマ
総合最優秀賞（生物）	大町岳陽	長野県大町市の水田における光合成細菌 <i>Rhodopseudomonas</i> 属に関する研究
最優秀賞（物理）	諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発
最優秀賞（化学）	諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成過程の解明と考察
最優秀賞（地学）	飯山	奥信濃の土や石から釉薬を作ろう
優秀賞（生物）	諏訪清陵	<i>Hydra vulgaris</i> の姿勢と明暗周期の関係